

簡易水道事業における経営健全化計画の執行状況報告について(平成24年度報告)

1. 経緯及び目的について

村の簡易水道事業では、政府資金補償金免除の繰上償還の実施にあたり、平成19年度に**経営健全化計画**を策定しました。

この計画は、5年間の経営改善目標を立てて、その目標に向けた取り組みを行うもので、補償金免除の繰上償還実施の条件となっています。また、毎年度、取り組みの状況は議会や住民へ報告、公表を行うこととされています。

2. 計画の執行状況等について

経営健全化計画は、**目標の基準となる年度を平成18年度**として、基準年度に対して、**平成19年度～23年度までの5年間**の計画を設定しています。

①職員数（集中改革プランの目標数値である1名を維持）

年 度	計 画 期 間					
	H18年度 (基準)	H19年度 (実績)	H20年度 (実績)	H21年度 (実績)	H22年度 (実績)	H23年度 (実績)
簡易水道会計 の職員数 (人)	1	1	1	1	1	1

増員予定はなく、現行を維持

②改善額

a. 収入の確保

年 度	計 画 期 間					
	H18年度 (基準)	H19年度 (実績)	H20年度 (実績)	H21年度 (実績)	H22年度 (実績)	H23年度 (実績)
一般会計からの負担 金の確保 (百万円)	12	20	88	63	1	5

一般会計からの収入の確保

公債費対策財源の財源確保

建設改良のための財源確保

改善額 (各年度－基準年度)	改善額計					
	8	76	51	－	－	135

※ただし、基準年度より金額が小さい場合は「数値なし」となる。

当初目標数値 (25)

b. 経費の削減

年 度	H18年度 (基準)	計 画 期 間				
		H19年度 (実績)	H20年度 (実績)	H21年度 (実績)	H22年度 (実績)	H23年度 (実績)
維持管理費等 (百万円)	30	32	33	31	31	31

維持管理費のコスト削減

施設の点検強化、早期修復

漏水減少による有収率の向上

改善額計

改善額（各年度－基準年度）	2	3	1	1	1	▲ 8
---------------	---	---	---	---	---	-----

※ただし、基準年度より金額が大きい場合はマイナス改善となる。

当初目標数値（17）

③公営企業債現在高

年 度	H18年度 (基準)	計 画 期 間				
		H19年度 (実績)	H20年度 (実績)	H21年度 (実績)	H22年度 (実績)	H23年度 (実績)
公営企業債現在高 (百万円)	366	347	256	188	178	168

公債費負担の軽減

繰上償還の実施

村債の新規発行抑制

3. 今後の取り組みについて

当村の水道施設は施設整備後、長期を経過していることから、施設の老朽化による漏水のため、有収率の低下が維持管理費におけるコスト増の大きな要因となっている。計画当初より施設管路の点検を強化し、早期修復を目標として進めてきており、これまでに着実に効果として表れてきている。23年度をもって、計画期間は終了となるが、引き続き、重点的に取り組みを継続していくこととする。